

AI顔認証デバイス

V2L-PRO

設定マニュアル

Ver.21.6.47.1_S3



ご使用する前に

この度はAi顔認証デバイス「V2L-PRO(以下、本機器)」をご購入いただきましてありがとうございます。
本機器をご使用いただく前に取扱説明書(以下、本書)をよくお読みになり、必要な時にすぐにお読みいただけるよう、管理保管をお願いいたします。

注意

本機器は産業用途向けの体表面温度分布(以下、体表温分布)を顔認識時に同時に計測を行うことが可能な顔認証デバイスであり、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(以下、薬機法)」で定められた体温計ではございません。

本機器や一般的な赤外線放射温度計及び、サーマルグラフィ機器は体温計としてご使用いただくことはできません。体温を測定には薬機法で定められた体温計にて測定を行ってください。

本機器では計測エリア内の温度を計測することは可能ですが、体温を計測することはできません。

本機器が測定する体表温分布は実際の温度と異なり、低い数値を表示し、また表示される数値も様々な要因により、個人差がございます。これは体表面が常に外気温などの周辺温度や風などに強く影響を受けるためです。

本機器では被写体がウイルス感染しているか判断を行うことはできません。

本機器で体表温分布を測定する際には帽子等は外して測定を行ってください。
※眼鏡の形状により眼鏡着用時に測定が行われない場合がございます。

本機器が設置されている環境や、被測定者の状況、状態等により表示される体表温分布の数値は異なります。

本機器は顔を認識した際に表示される枠内の一番高い温度を画面上に表示します。
そのため、カイロや冷温湿布等が張り付けられた箇所や照明の映り込みなどにより表示される温度が異なります。

本機器は診断等の医療行為にはご使用いただけません。

本機器を設置される場合には温風や冷風があたらず、直射日光のあたらない場所に設置を行ってください。

本機器の温度表示範囲は35°C~42°Cまでとなり、34.9°C以下はLOW表示となりますが、本機器の不具合ではございません。

本機器の計測タイミングによっては初めに「LOW」表示がされる場合がございます。
その際にはそのままお待ちいただき、2度目の計測を行ってください。

本機器はIP66等級の防塵防水性能を有しておりますが、機器の特性上、屋内でのご使用をお勧めいたします。

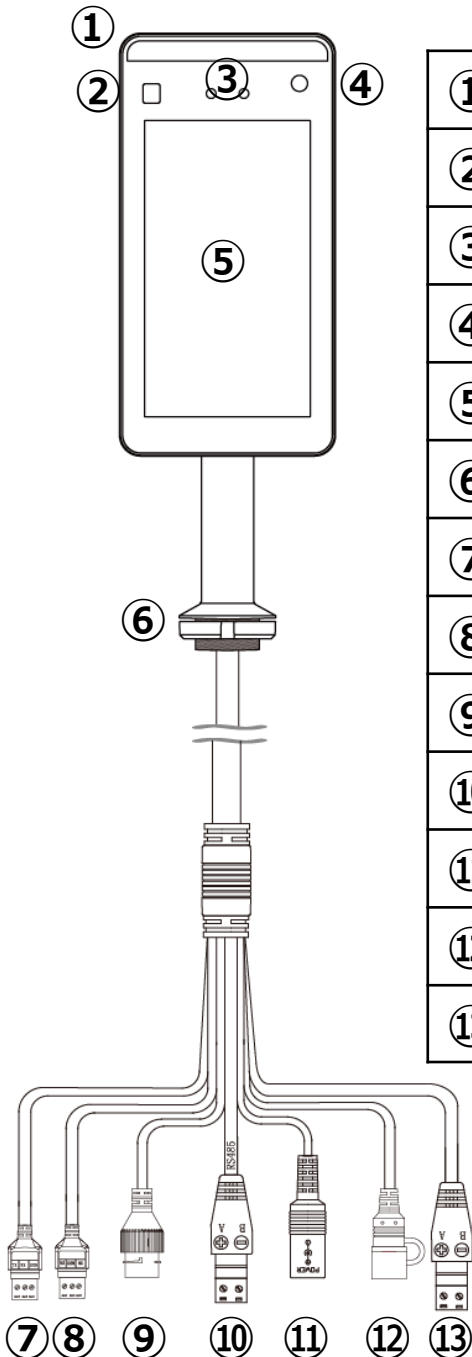
※本機器を屋外でご使用される場合は販売店へご相談ください。

本機種に適合されているファームウェアバージョン「V21.6.47.1」以降は、
ファームウェアバージョン「V20.5.49.4」を含む以前のファームウェア「V21.5.xx.x」及び
「V20.4.xx.x」、「V20.5.xx.x」、「V21.5.xx.x」とのファームウェアの互換性はありません。
誤ってファームウェアを適応しないようご注意ください。

目 次

・各部名称	5
・V2L-PRO本体と各ブラケットへの取り付け方法	6
・テーブルブラケットへの取り付け方法	6
・スタンドブラケットへの取り付け方法	7
・設置環境についての注意事項	8
・カメラとパソコンとの直接接続について	9
・Windows7搭載パソコンの場合	9
・Windows10搭載パソコンの場合	12
・①カメラへのアクセス	15
・②カメラへのログイン方法	16
・機能設定	17
・1.基本設定	17
・1-1.バージョン情報	17
・1-2.日付設定	18
・1-3.サマータイム	19
・1-4.メイン	20
・1-5.画面表示	21
・1-6.スナップショット	22
・1-7.再起動設定	22
・1-8.スタンバイ設定	23
・1-9.音量設定	23
・1-10.音声アップロード	23
・1-11.照明設定	24
・1-12.ウィーガンド	24
・1-13.RS485	24
・1-14.デバイスの設定	25
・1-15.TCP/IP	26
・1-16.クラウドサービス	27
・1-17.ネットワークテスト	27
・1-18.MQTT本体設定	28
・1-19.STMP環境設定	29
・1-20.顔認証設定	30
・1-20-1.リレー動作表	31
・1-21.測温設定	33
・1-22.メンテナンス	33
・1-23.アラーム設定	33
・1-24.人員検索	34
・1-25.ユーザー登録	35
・1-25-1.admin情報の修正	36
・仕様	37
・設定確認チェックシート	38
・保証書	38

各部名称



①	照明用白色LED
②	赤外線LED
③	可視カメラ
④	サーマルカメラ
⑤	液晶パネル
⑥	固定ナット
⑦	Wiegand端子
⑧	C接点端子(N.O / COM / N.C)
⑨	RJ45(LAN)端子
⑩	RS485端子
⑪	DCジャック
⑫	リセットボタン
⑬	アラーム出力端子

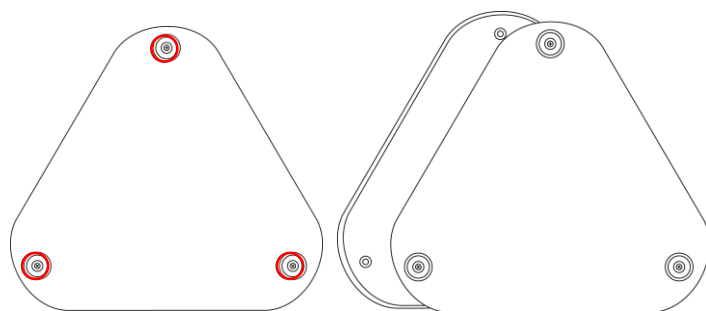
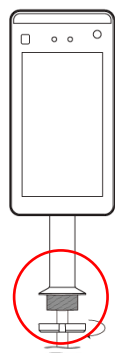
V2L-PRO

・事前準備①

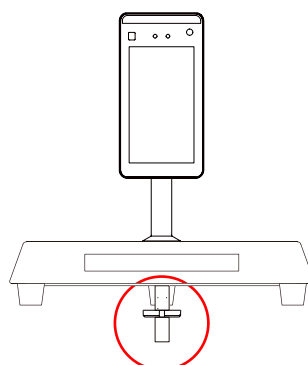
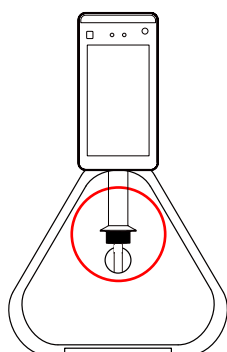
V2L-PRO本体と各ブラケットへの取付け方法

本カメラを使用する前にご使用する各スタンドとカメラを組み立てます。

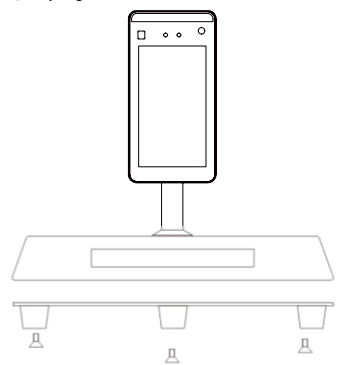
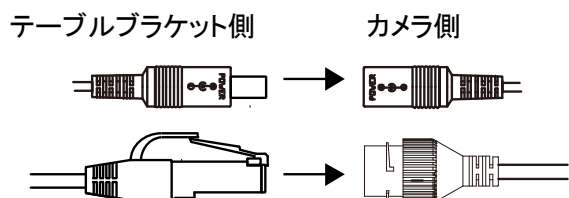
- ・ テーブルブラケットへの取付け方法



- ①カメラブラケットから固定ナットを取外します。この際、ゴムパッキンはカメラ側に残します。
- ②テーブルブラケットの底面ある皿ねじ(M3) 3個を外し、外装プレートを取外します。



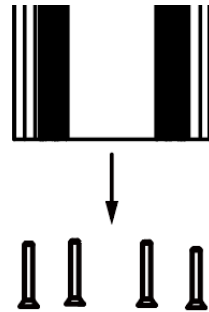
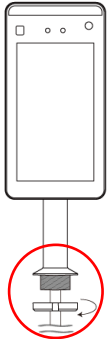
- ③テーブルブラケット上面の穴にコネクタから順にケーブルを通します。
- ④取り外した固定ナットをコネクタ側から順に通し、カメラとブラケットを上図のように取付けます。



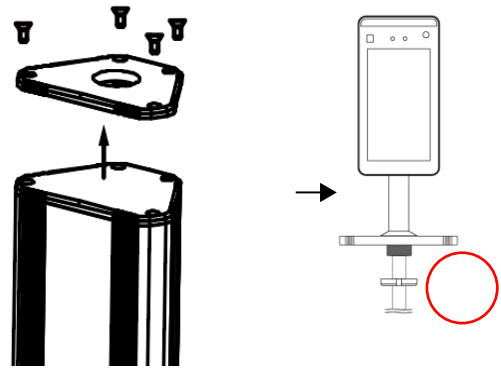
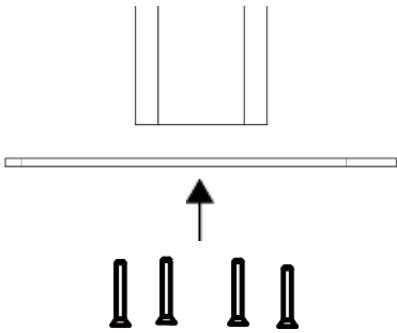
- ⑤カメラ本体とテーブルブラケットのLANケーブルとDCコネクタを接続します。
※USBコネクタは使用しません。
- ⑥ケーブルをテーブルブラケットに収納し外装プレートをねじ止めして取付けは完了です。

V2L-PRO本体と各スタンドへの取付け方法

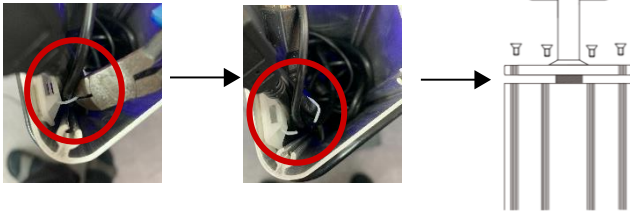
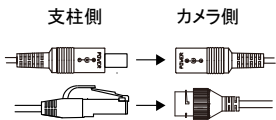
・ スタンドブラケットへの取付け方法



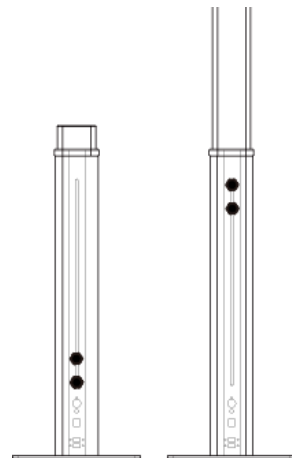
- ①カメラブラケットから固定ナットを取外します。この際、ゴムパッキンはカメラ側に残します。
- ②支柱下部のねじ(M4)4本を取り外します。



- ③2枚のベースを支柱に取り外したねじ(M4)を使用し共締めします。
- ⑤支柱上部の皿ねじ(M3)4個を取外し上面プレートを外します。上面プレート開口部にカメラのケーブルをコネクタ側から通し、取外した固定ナットでカメラとプレートを固定します。



- ⑥カメラ本体と支柱内のLANケーブルとDCコネクタを接続し、支柱内でケーブルを束ねている結束バンドをニッパー等で切断します。結束バンド切断後、接続したケーブルを支柱内に収納し、上面プレートを皿ねじ(M3)4本を使用し、支柱に固定し組み立ては完了です。 ※USBコネクタは使用しません。



- ⑦支柱背面の手回しねじを緩め、支柱を任意の高さに合わせ、手回しねじを締めて固定します。

V2L-PRO

・設置環境についての注意事項

- ・本機器の温度検知機能を使用する際には周囲温度が35℃以内かつ、他の熱源や換気扇の近くや、エアコンなどの風が当たらない、温度が一定な場所でご使用ください。
また温度測定するにはカメラから設定した距離を基準に枠内に顔が収まるよう設置を行ってください。
- ・顔認証では頭を直立させ、モニタの枠内に入るように立ってください。
帽子をかぶらないで撮影してください。サングラスの着用や濃い化粧をなど、なさないでください。撮影するときは前髪やタオルなどで額を覆わないようにしてください。
また、撮影する際には下図の姿勢で撮影を行ってください。



正面

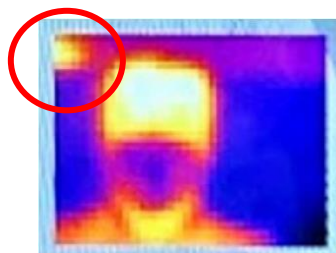
頭をかしげる

横を向く

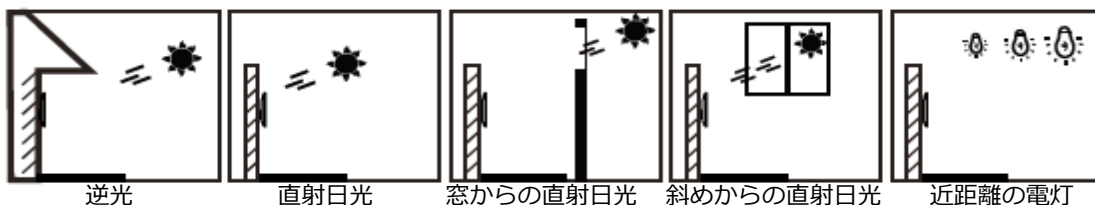
上を向く

下を向く

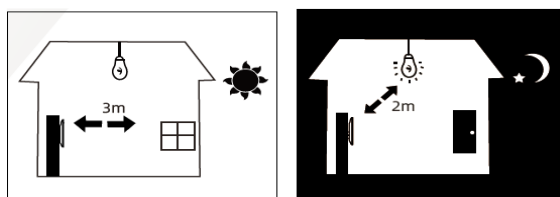
- ・本機器の温度検出は顔を検出した際に表示される枠内の最大温度を表示します。
そのため、表示される枠内に他の熱源(蛍灯などの照明器具や日光などで熱せられた壁など)が入り込まないように設置を行ってください。
他の熱源が枠内に入り込んでいるかは画面右下に表示されるサーマル画像上で確認することができます。(下図の赤丸部参照のこと)



- ・本機器を設置する際には以下の環境下では設置しないでください。



- ・本機器を屋内に設置する場合は電灯から2m以上離して設置してください。
また、本機器から電灯、ドアや窓から3m以上離して設置してください。
電灯などは本機器の近くに置かず、太陽光は直接当たらないようにしてください。



・事前準備②

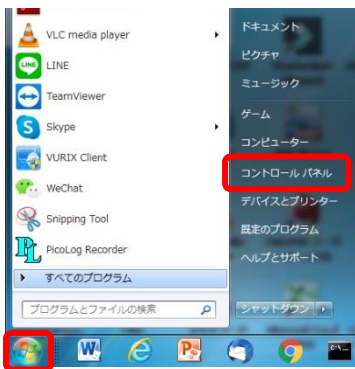
・カメラとパソコンとの直接接続について

カメラとパソコンをLANケーブルで直接接続する場合、予めパソコンのネットワーク設定が必要となります。パソコンのネットワーク設定は以下の手順で行います。

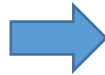
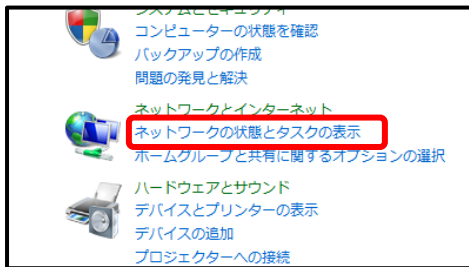
※ルーター経由で接続する場合、この操作は不要です。

Windows7搭載パソコンの場合

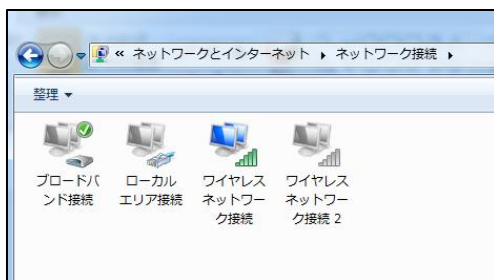
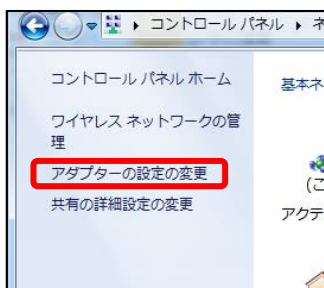
1. スタートメニューを開き、スタートメニュー内の「コントロールパネル」にマウスカーソルを合わせ、マウスの左ボタンをクリックし、コントロールパネルを表示します。



2. コントロールパネル内の「ネットワークとインターネット」下部にある「ネットワーク状態とタスクの表示」にマウスカーソルを合わせ、マウスの左ボタンをクリックし、「ネットワークと共有センター」を表示します。

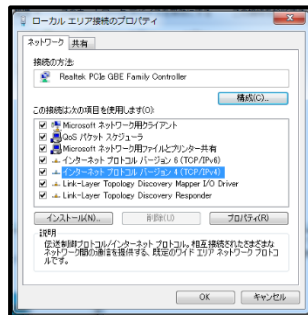
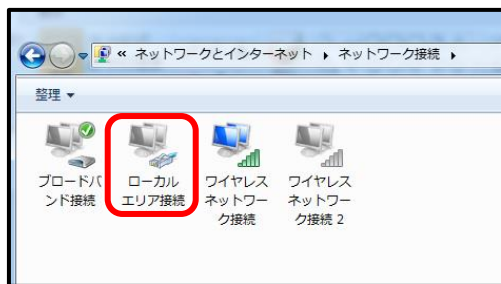


3. ネットワークと共有センター左側の「アダプターの設定の変更」にマウスカーソルを合わせ、マウスの左ボタンをクリックし、「ネットワーク接続」を表示します。

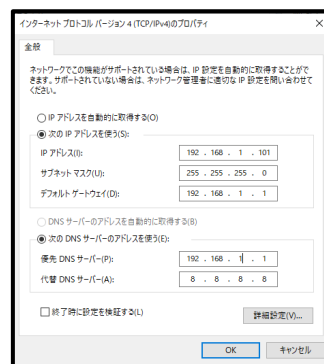


V2L-PRO

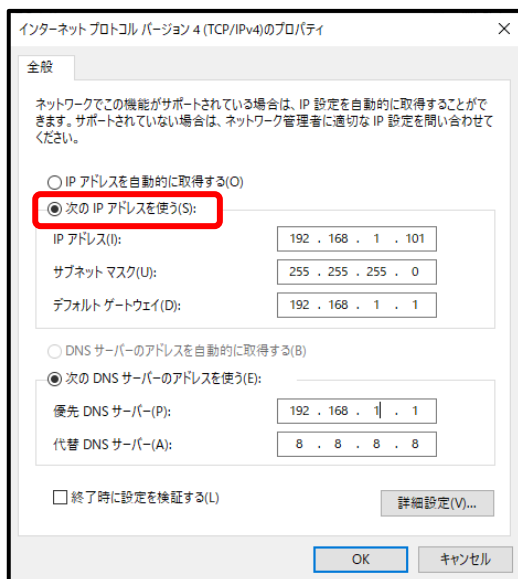
4.「ネットワーク接続」内の「ローカルエリア接続」にマウスカーソルを合わせ、左ボタンをダブルクリックし、「ローカルエリア接続のプロパティ」を表示します。



5.「ローカルエリア接続のプロパティ」内の「この接続先は次の項目を使用します(O):」内の「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」にマウスカーソルを合わせ、マウスの左ボタンをダブルクリックし、「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」を表示します。



6.表示された「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」内の「次のIPアドレスを使う(S):」にチェックを入れます。



7.「次のIPアドレスを使う(S):」にチェック後、「IPアドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」「優先DNSサーバー」に下図の通りに値を入力します。

この際、カメラのIPアドレスが「192.168.1.xxx」に設定されている場合、「xxx」部はカメラに表示されているIPアドレスと異なる数字を「1～254」までで入力します。

● 次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): 192 . 168 . 1 . 101

サブネット マスク(U): 255 . 255 . 255 . 0

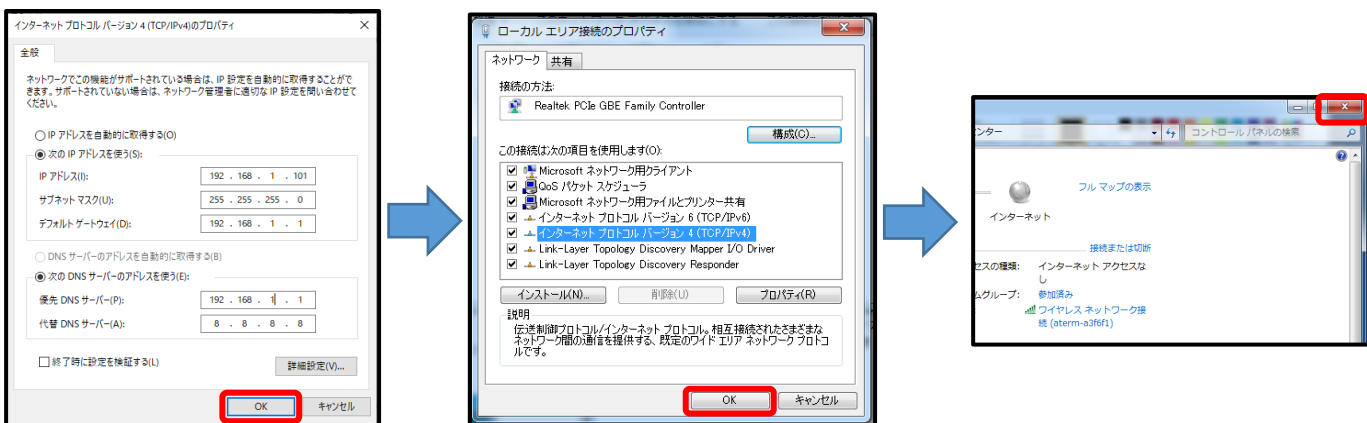
デフォルト ゲートウェイ(D): 192 . 168 . 1 . 1

DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)

● 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバー(P): 192 . 168 . 1 . 1

8.各項目入力後、下部の「OK」ボタンにマウスカーソルを合わせ、左クリックし、「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」を閉じます。同様に「ローカルエリア接続のプロパティ」下部の「OK」ボタンにマウスカーソルを合わせ、左クリックし、「ローカルエリア接続のプロパティ」を閉じます。最後に「コントロールパネル」右上の「×」ボタンにマウスカーソルを合わせ、左クリックし、「コントロールパネル」を閉じてネットワーク設定の完了です。



9.ネットワーク設定を元に戻すには逆の手順で

「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」上で、「IPアドレスを自動的に取得する」にチェックを入れ設定を保存してください。

IP アドレスを自動的に取得する(O)

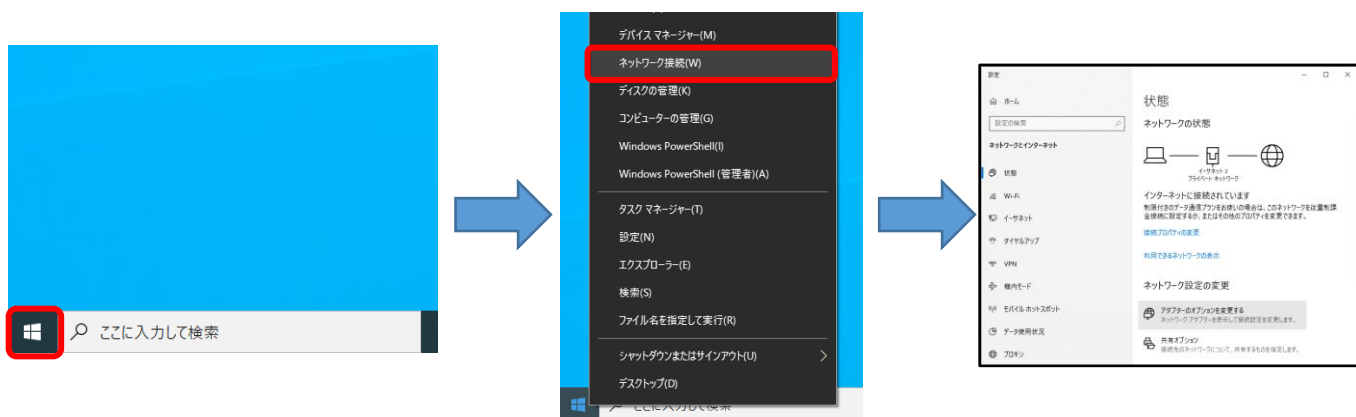
● 次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): 192 . 168 . 1 . 101

V2L-PRO

Windows10搭載パソコンの場合

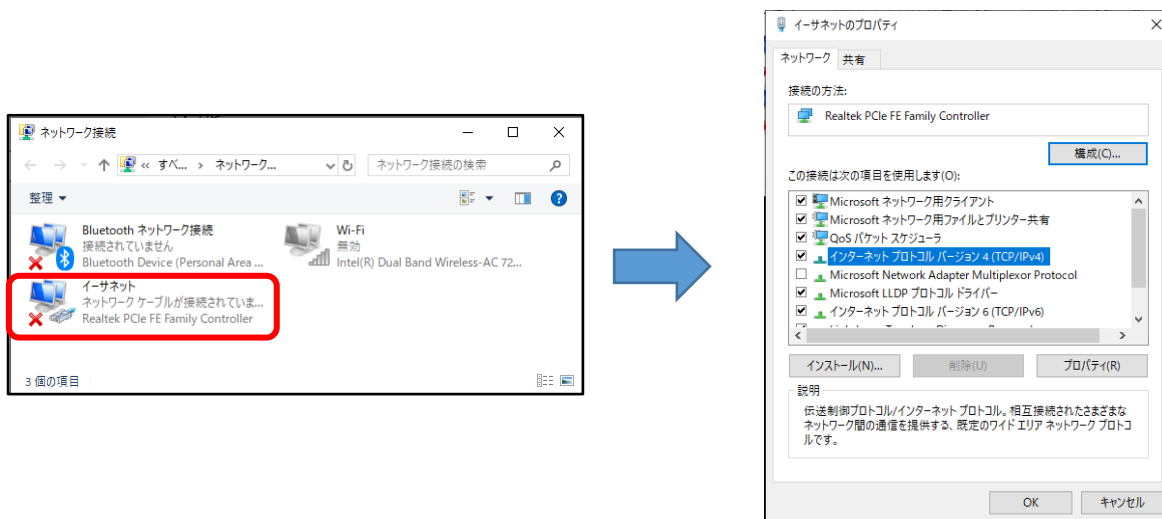
1. スタートメニューアイコンにマウスカーソルを合わせ、右クリックし、表示されたポップアップメニュー上の「ネットワーク接続」を左クリックし、「設定」を表示します。



2. クリック後、表示された「設定」ウインドウ上の「アダプターのオプションを変更する」にマウスカーソルを合わせ、左クリックし、「ネットワーク接続」を表示します。



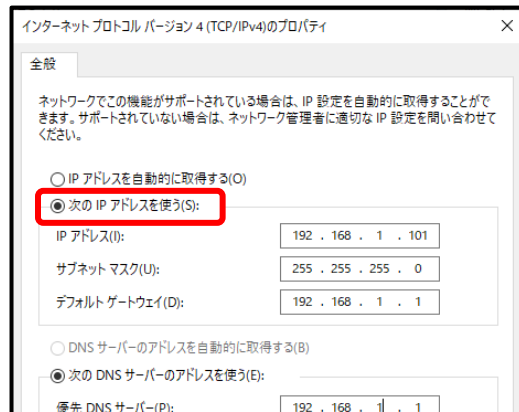
3. 「ネットワーク接続」上の「イーサネット」または「ローカルエリア接続」にマウスカーソルを合わせ、左ボタンをダブルクリックし、「イーサネットのプロパティ」または「ローカルエリア接続のプロパティ」を表示します。



表示されたプロパティ内の「この接続先は次の項目を使用します(O):」内の「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」にマウスカーソルを合わせ、マウスの左ボタンをダブルクリックし、「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」のプロパティを表示します。

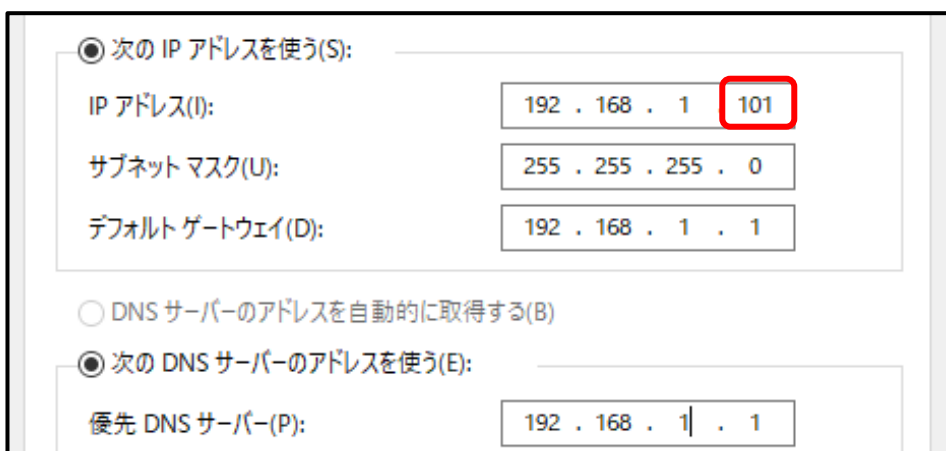


5.表示された「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」内の「次のIPアドレスを使う(S):」にチェックを入れます。



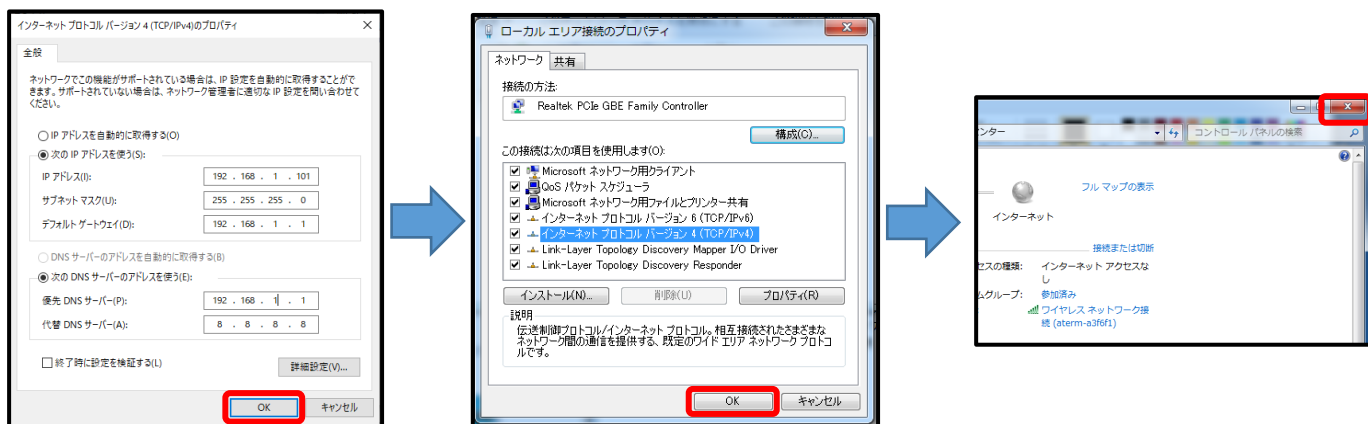
6.「次のIPアドレスを使う(S):」にチェック後、「IPアドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」「優先DNSサーバー」に下図の通りに値を入力します。

この際、カメラのIPアドレスが「192.168.1.xxx」に設定されている場合、「xxx」部はカメラに表示されているIPアドレスと異なる数字を「1～254」までで入力します。



V2L-PRO

- 7.各項目入力後、下部の「OK」ボタンにマウスカーソルを合わせ、左クリックし、「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」を閉じます。
同様に「ローカルエリア接続のプロパティ」下部の「OK」ボタンにマウスカーソルを合わせ、左クリックし、「ローカルエリア接続のプロパティ」を閉じます。
最後に「コントロールパネル」右上の「×」ボタンにマウスカーソルを合わせ、左クリックし、「コントロールパネル」を閉じてネットワーク設定の完了です。



- 9.ネットワーク設定を元に戻すには逆の手順で「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」上で、「次のIPアドレスを使う」から「IPアドレスを自動的に取得する」にチェックを入れ設定を保存してください。



・事前準備③

①カメラへのアクセス

パソコン上のMicrosoft Edge(以下Edge)またはChromeを起動します。

パソコン上のMicrosoft Edge(以下Edge)またはChromeを起動します。

起動後、カメラ本体右上に表示されているIPアドレスを確認し、アドレスバーに下記の通りに入力します。

※カメラに表示されるアドレスは機器や環境によってアドレスは異なります。

参考例：カメラに表示されたIPアドレスが「192.168.1.56」の場合、アドレスバーには「http://192.168.1.56」または「https://192.168.1.56」と入力

ネットワーク設定内の基本設定上で「HTTPをオフ」にチェックがある場合は「https」で接続してください。

※ポートを設定されている場合はカメラのIPアドレスの後に：**ポート番号**を必ず入力します。

参考例：ポートを「7080」に設定している場合、「http://192.168.1.56:7080」と入力します。



アドレスバーに入力後キーボードの「Enter」ボタンを押すことで「https」で接続の場合、

下図の確認画面が表示されます。「詳細設定」をクリックし、IEでは「Webページに移動(非推奨)」を、

Chromeでは「xxx.xxx.xxx.xxxにアクセスする(安全ではありません)」をクリックすると

カメラへのログインページが表示されます。

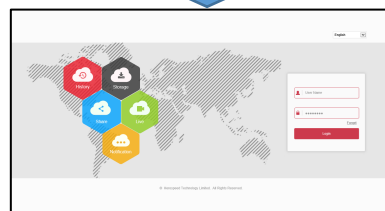
「HTTPをオフ」にチェックなく、「http」でアクセスした際には直接ログインページが表示されます。



Chromeからのアクセス時




Edgeからのアクセス時

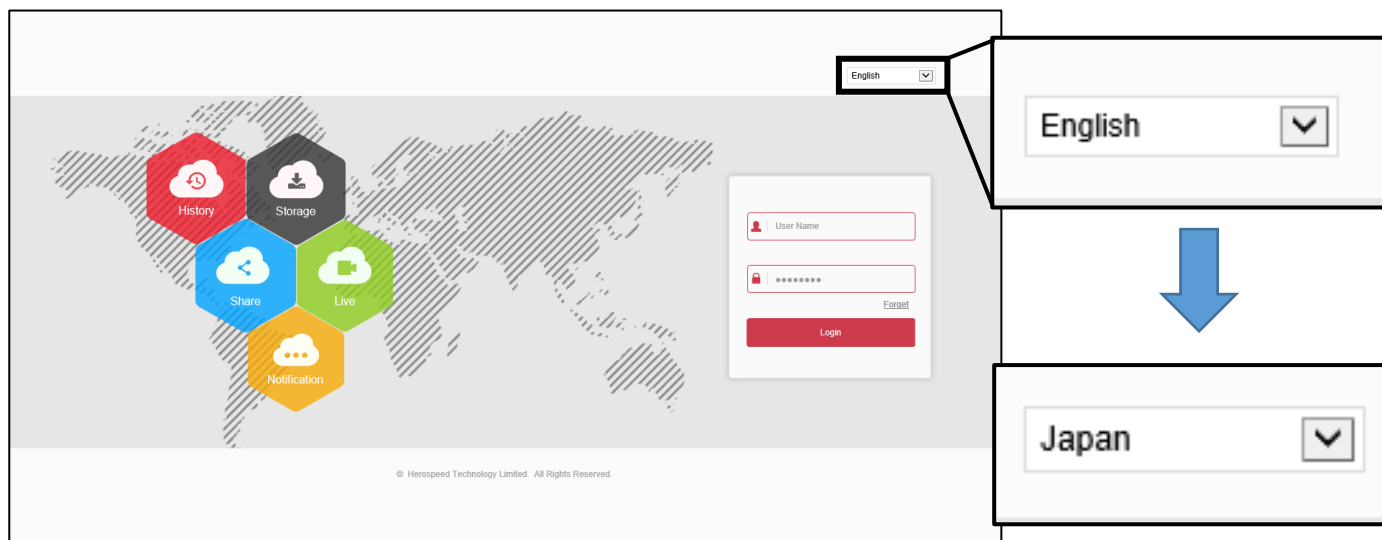


ログインページ

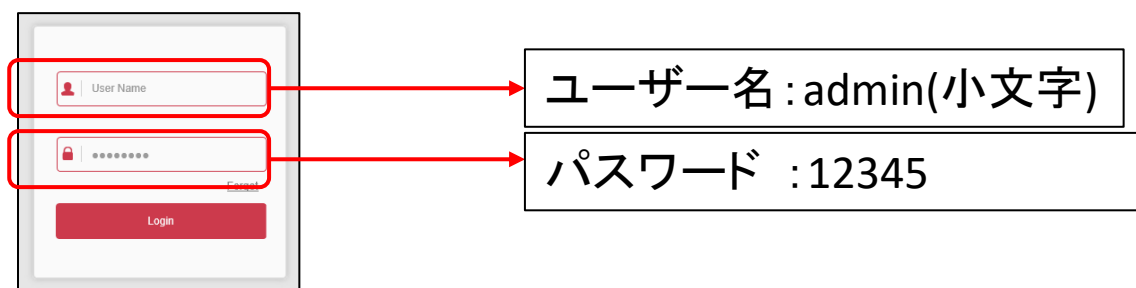
V2L-PRO

②カメラへのログイン方法

ログイン画面右上にある言語ウインドウの  をクリックし、表示されたプルダウンメニューより「Japan」を選択します。



言語選択後、ユーザー名に「admin(小文字)」、パスワードに「12345」を入力し、「Login」ボタンをクリックします。



正常にログインされると下図の画面が表示されます。



機能設定

出荷時には予め温度が表示されるよう設定がされておりますが、機器をリセット(工場出荷状態)した場合には各設定を行ってください。

1. 基本設定

ログイン後表示されるイメージレビュー画面内より「環境設定」をクリックし、下図の設定メニューを表示します。



・本体設定画面では下図のように各項目が左側に表示され、各項目のサブ項目が上部にタブ表示されます。

項目の値は直接入力するか ボタンがある場合は ボタンをクリックし、表示されたリスト上から選択します。

項目の値を変更後、反映するには値変更後に「保存」をクリックします。



1-1. バージョン情報

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「システム」を選択し、サブ項目の「バージョン情報」を選択します。



シリアルナンバー	カメラのシリアル番号が表示されます。
型番	カメラの型番が表示されます。
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンが表示されます。
リリース日付	ファームウェアのリリース日が表示されます。
WEBバージョン	WEBバージョンが表示されます。

V2L-PRO

1-2.日付設定

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「システム」を選択し、サブ項目の「日付設定」を選択します。

システム	バージョン情報	日付設定	サマータイム	メンテナンス	画面表示設定	スナップショット
システム設定	再起動設定	タイムゾーン	GMT+09:00 Chita City, Osaka, Sapporo, Tokyo, Seoul, Yakutsk ▼			
ユーザー管理	音量設定	<input type="checkbox"/> 日付/時間手動設定				
照明設定	ウィーガンド	日付/時間	2021-11-15	13	50	43
RS485	デバイスの設定	<input type="checkbox"/> パソコンと同期する	2021/11/15 13:51:03			
ネットワーク	基本設定	<input checked="" type="checkbox"/> NTPを使用する				
		NTPサーバー	time.windows.com ▼			
		カスタム				
		NTPポート	123			
		NTP更新間隔(分)	10			

タイムゾーン	使用するタイムゾーンを選択します。 通常は「GMT+09:00 Chita City, Osaka, Sapporo, Tokyo, Seoul, Yakutsk, Chita City」を選択します。 【標準値：GMT+09:00 Chita City, Osaka, Sapporo~】
日付/時間手動設定	チェックを入れると時刻を手動で設定することができます。 時刻は「日付/時間」項目より設定を行います。 【標準値：チェックなし】
パソコンと同期する	チェックを入れると現在接続されているパソコンの時刻に修正いたします。 パソコンの現在時刻は右側に表示されます。 【標準値：チェックなし】
NTPを使用する	チェックを入れるとNTPサーバーにアクセスし、時刻を自動的に修正します。 ※カメラがインターネットに接続する必要があります。 【標準値：チェックあり】
NTPサーバー	NTP自動時刻補正にチェックが入っている場合、アクセスを行うNTPサーバーを選択します。 【標準値：time.windows.com】
カスタム	NTPサーバー項目で「カスタム」を選択時、右の空欄にNTPサーバーアドレスを入力する事ができます。 アクセスを行うNTPサーバーアドレスを入力します。
NTPポート	接続するNTPサーバーに合わせてポート番号を入力します。 ※通常は変更しません。【標準値：123】
NTP更新間隔(分)	NTPサーバーにアクセスを行う更新間隔を設定します。(単位：分)

1-3.サマータイム

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「システム」を選択し、サブ項目の「サマータイム」を選択します。

サマータイムを起用する	チェックを入れるとサマータイム機能を使用します。 【標準値：チェックなし】
タイプ	設定を行う設定タイプを選択します。 選択値：週 / 日付設定
開始時間	サマータイム期間の開始時間(月 / 週 / 曜日 / 時 / 分)を選択します。
終了時間	サマータイム期間の終了時間(月 / 週 / 曜日 / 時 / 分)を選択します。
オフセット(分)	サマータイム期間中のオフセットを選択します。 選択値：30 / 60 / 90 / 120(分) 【標準値：60】

V2L-PRO

1-4.メイン

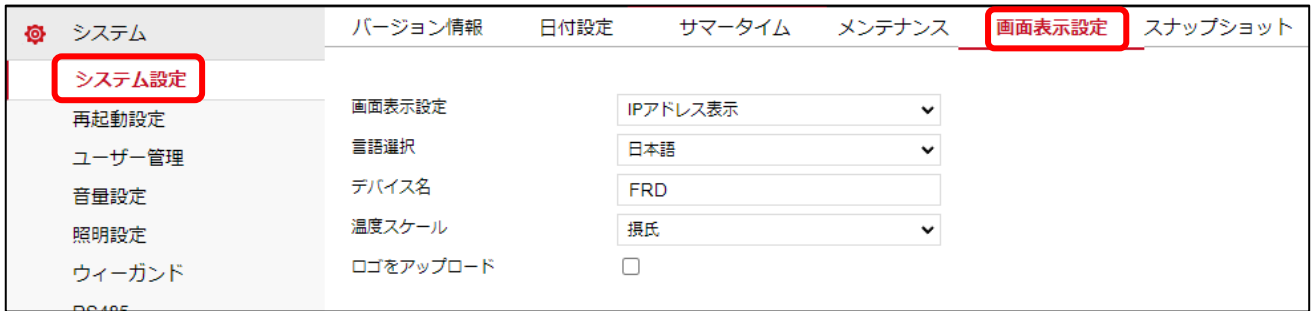
「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「システム」を選択し、サブ項目の「メイン」を選択します。



システム再起動	再起動	選択すると下図のメッセージが表示されます。 「OK」をクリックすると再起動を行います。
	工場出荷時設定	選択すると下図のメッセージが表示されます。 「OK」をクリックすると設定を初期化し、再起動を行います。 工場出荷設定を行うと設定値が初期化され、レコードデータがすべて消去されます。
アップグレード	ブラウザ選択後、表示されたエクスプローラー上でアップグレードするファームウェアファイルを選択し、「ブラウザ」ボタンをクリックすることで開くエクスプローラー上よりファームウェアファイルを選択します。 ファイルを選択後、「アップグレード」ボタンを選択すると下図のメッセージが表示されます。 「OK」をクリックすると再起動後、ファームウェアをアップグレードします。 注意：使用可能なファームウェアは「V21.6.xx.x」以降です。 「V20.6.xx.x」以前のファームウェアはご使用できません。	
手動オンラインアップグレード	使用しません。	

1-5.画面表示

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「システム」を選択し、サブ項目の「画面表示」を選択します。



画面表示設定	<p>画面上に表示を行う項目を選択します。 選択値：・表示しない・シリアル番号・デバイス名・IPアドレス 【標準値：IPアドレス】 ・機器との接続を容易に行うため、IPアドレスの表示をお勧めします。</p>
言語選択	<p>モニター上の表示言語を9か国語より選択します。 「Japan」以外が選択されている場合は「Japan」を選択します。 【標準値：English】</p>
デバイス名	<p>ディスプレイ構成にてデバイス名を表示するが選択されている際に 表示を行うデバイス名を入力します。 【標準値：FRD】</p>
温度スケール	<p>表示する温度スケール(温度単位)を選択します。 選択値：華氏・摂氏・ケルビン 【標準値：摂氏】</p>
ロゴをアップロード	<p>スリープ時に表示するロゴ画像を設定することができます。 選択すると下図の各ボタンが表示されます。 ロゴを変更するには「ブラウザ」を選択後表示されるエクスプローラー上にて 登録を行うロゴデータを読み込みます。 (データファイル形式は、PNG形式、横600ピクセル、縦1024ピクセル) 読込後、「アップロードする」を選択する事でロゴデータを登録します。 ※ロゴデータを登録した場合、スリープ時にモニターは消灯されません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <input style="width: 200px; height: 20px;" type="text"/> <input type="button" value="ブラウザ"/> <input type="button" value="アップロードする"/> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">请600以上1024以上のサイズで、PNG形式の画像</p> </div>

V2L-PRO

1-6.スナップショット

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「システム」を選択し、サブ項目の「スナップショット」を選択します。

システム	バージョン情報	日付設定	サマータイム	メンテナンス	画面表示設定	スナップショット
システム設定						
再起動設定	記録を保存します:	<input checked="" type="checkbox"/>				
ユーザー管理	画像を保存します:	<input checked="" type="checkbox"/>				
音量設定	記録時間					
照明設定	記録保存時間設定:		無制限			
ウィーガンド						

記録を保存します。	チェックを入れると、顔を撮影した際の温度、時刻等の記録を保存します。 【標準値：チェックあり】
画像を保存します。	チェックを入れると、顔を撮影した際の顔画像を保存します。 【標準値：チェックあり】
記録保持時間設定	温度や時刻、顔画像等、レコードの保持時間を設定します。 「記録保持時間設定」を選択すると下部に表示される「時間」入力欄に 入力した設定時間内以外の、レコードが自動的に消去されます。 選択値：無制限・記録保持時間設定 【標準値：無制限】
記録保持時間設定	※レコード保持時間設定選択時のみ表示 レコードを保持する時間を選択します。(単位：時間) 【標準値：0】 ※「0」に設定された場合、「記録を保存します」のチェックが外れます。

1-7.再起動設定

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「再起動設定」を選択し、サブ項目の「再起動設定」を選択します。

システム	再起動設定	スタンバイ設定				
システム設定						
再起動設定	再起動設定					
ユーザー管理	毎週	水	03	時	03	分
音量設定						

再起動設定	自動的に再起動を行う日時を設定します。 選択値：使用しません・毎日(時・分)・毎週(曜日・時・分) ・毎月(日・時・分) 【標準値：毎週・水曜日・03時03分】
-------	---

1-8.スタンバイ設定

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「自動再起動」を選択し、サブ項目の「スタンバイ設定」を選択します。

The screenshot shows the 'System' menu with 'Standby Setting' highlighted in red. The 'Automatic Restart' option is also highlighted in red. The 'Standby Function' is set to 'None'.

待機時間

最後に顔撮影後スタンバイ(モニターのみ消灯)に移行するまでの時間を設定します。
 選択値：使用しない・5分・10分・30分 【標準値：しない】
 ※画面表示の「自分のロゴをアップロード」にてロゴデータを設定されている場合はモニターは消灯されず、ロゴ画像が表示されます。

1-9.音量設定

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「音量設定」を選択し、サブ項目の「音声設定」を選択します。

The screenshot shows the 'Volume Setting' screen. The 'Volume Setting' option is highlighted in red. The volume level is set to 10. There is a 'Save' button at the bottom.

音量設定

音声のボリュームを調整します。【標準値：10】

1-10.音声アップロード

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「音量設定」を選択し、サブ項目の「音声アップロード」を選択します。

The screenshot shows the 'Voice Upload' screen. The 'Voice Upload' option is highlighted in red. The language is set to 'English'. There are buttons for 'Delete', 'File Selection', and 'Upload'.

言語選択

音声を変更する言語を選択します。【標準値：English】

コンテンツのカスタマイズ

音声を変更する項目を選択します。
 登録済みの音声を初期音声に戻すには削除ボタンをクリックします。
 選択値：マスクなし・パスしてください・位置合わせしてください
 高温計測時・正常温度時・低温計測時
 ※音声ファイルはWAV形式・44.1～48KHz・16bit、500KB以下で
 ご用意してください。

V2L-PRO

1-11.照明設定

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「照明設定」を選択します

システム	照明設定
システム設定	画面の明るさ設定(45-100) <input type="range" value="60"/> 60
再起動設定	補助照明をオンにする <input checked="" type="checkbox"/>
ユーザー管理	
音量設定	
照明設定	保存

画面の明るさ設定	画面の明るさを設定します。 選択値：45-100 【標準値：60】
補助照明をオンにする	チェックを入れると顔検出時、補助光を点灯します。【標準値：チェックあり】

1-12.ウィーガンド

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「ウィーガンド」を選択します

システム	ウィーガンド
システム設定	方向 <input type="text" value="インプット"/>
再起動設定	
ユーザー管理	保存
音量設定	
照明設定	
ウィーガンド	

方向	信号の方向を選択します。 選択値：インプット・アウトプット 【標準値：インプット】
----	--

1-13.RS485

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「RS485」を選択します

システム	ポーレート	<input type="text" value="115200"/>
システム設定	検証方法	<input type="text" value="NO"/>
再起動設定	データビット	<input type="text" value="8"/>
ユーザー管理	ストップビット	<input type="text" value="1"/>
音量設定		
照明設定		
ウィーガンド		
RS485	保存	

ボーレート	通信ボーレート(転送速度)を選択します。 選択値：110～921600 【標準値：115200】
検証方法	データ通信の際の付加ビットを選択します。 選択値：NO・ODD・Parity【標準値：NO】
データビット	送信する際のビット数を選択します。 選択値：6・7・8 【標準値：8】
ストップビット	ストップビットとして使用するビット数を選択します。 選択値：1・2 【標準値：1】

1-14.デバイスの設定

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「デバイスの設定」を選択します



エクスポート	「エクスポート」ボタンを選択すると現在の設定データをエクスポートします。 ※設定データは「V2L_(シリアル番号).ini」となります。
インポート	設定データを読み込みます。 設定データを読み込むには「ブラウザ」を選択後表示されるエクスプローラー上より設定データを選択後「OK」ボタンを選択し、設定データを読み込ませ、「インポート」ボタンを選択します。 正常に設定データをインポートすると自動的に再起動します。

V2L-PRO

1-15.TCP/IP

「本体設定」画面上の項目より「ネットワーク」メニュー内の「基本設定」を選択し、サブ項目の「TCP/IP」を選択します。

システム	TCP/IP	クラウドサービス	ネットワークテスト
ネットワーク	DHCPを使用する <input type="checkbox"/>		
基本設定	HTTPをオフにする <input type="checkbox"/>		
詳細設定	IPアドレス	192.168.1.56	
顔認証設定	ネットマスク	255.255.255.0	
測温設定	ゲートウェイ	192.168.1.1	
アラーム設定	HTTPポート	7080	
人員検索	HTTPSポート	443	
	デバイスMAC	2C:6F:51:15:6E:EC	
	プライマリDNS	192.168.1.1	
	セカンダリDNS	8.8.8.8	

保存

DHCPを使用する	チェックを入れるとDHCPによるIPアドレス自動割り当て機能を使用します。 【標準値：チェックなし】
HTTPをオフにする	チェックを入れると、「 http s://」での接続のみとなります。 【標準値：チェックなし】
IPアドレス	DHCPにチェックなしの場合、入力できます。 使用するIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	DHCPにチェックなしの場合、入力できます。 使用するサブネットマスクアドレスを入力します。
ゲートウェイ	DHCPにチェックなしの場合、入力できます。 使用するゲートウェイアドレスを入力します。
HTTPポート	使用するHTTPポートを設定します。 【標準時：80】
HTTPSポート	使用するHTTPSポートを設定します。 【標準時：443】
デバイスMAC	機器のMACアドレスが表示されます。
プライマリDNS	DHCPにチェックなしの場合、入力できます。 使用するプライマリ(優先)DNSアドレスを入力します。
セカンダリDNS	DHCPにチェックなしの場合、入力できます。 使用するセカンダリ(代替)DNSアドレスを入力します。

1-16. クラウドサービス(※本機能は使用できません。)

「本体設定」画面上の項目より「ネットワーク」メニュー内の「基本設定」を選択し、サブ項目の「クラウドサービス」を選択します。

システム	TCP/IP	クラウドサービス	ネットワークテスト
ネットワーク	クラウド サービスを有効にする	<input type="checkbox"/>	
基本設定	接続状態	未接続	
詳細設定			
顔認証設定			保存

クラウドサービスを有効にする

チェックを入れるとクラウドサービスを使用します。
接続状態に現在の接続状態が表示されます。
【標準値：チェックなし】

1-17. ネットワークテスト

「本体設定」画面上の項目より「ネットワーク」メニュー内の「詳細設定」を選択し、サブ項目の「ネットワークテスト」を選択します。

システム	TCP/IP	クラウドサービス	ネットワークテスト
ネットワーク	ネットワークテスト	www.google.com	テスト
基本設定			
詳細設定			
顔認証設定			
测温設定			
アラーム設定			
人員検索			

ネットワークテスト

テスト接続を行う宛先を選択し、「テスト」ボタンをクリックすることでネットワークの通信テストを行います。
手動入力を選択する場合、表示された空欄に宛先を入力します。
選択値：www.google.com www.baidu.com
www.facebook.com、www.youtube.com
www.yahoo.com、サーバー手動入力
【標準値：www.google.com】

V2L-PRO

1-18.MQTT本体設定

「本体設定」画面上の項目より「ネットワーク」メニュー内の「詳細設定」を選択し、サブ項目の「MQTT本体設定」を選択します。

The screenshot shows the MQTT configuration interface. The left sidebar has 'ネットワーク' (Network) selected, with '詳細設定' (Detailed Settings) highlighted. The main content area is titled 'MQTT 本体設定' (MQTT Main Settings). It includes a checkbox for '有効' (Enabled), input fields for 'ユーザー名' (Username), 'パスワード' (Password), 'ポート' (Port) (1883), and 'サーバー' (Server). The '接続状態' (Connection Status) is '未接続' (Not connected). Below are sections for 'サブスクリプション構成' (Subscription Configuration) and 'パブリッシャー構成' (Publisher Configuration).

MQTT	チェックを入れることでMQTT機能を有効にします。
ユーザー名	MQTT接続に使用するユーザー名を入力します。
パスワード	MQTT接続に使用するパスワードを入力します。
ポート	MQTT接続に使用するポート番号を入力します。 【標準値：1883】
サーバー	MQTT接続に使用するサーバーアドレスを入力します。
接続状態	現在の接続状態を表示します。
購読QoS	使用するQoSレベルを設定します。 選択値：ほぼ一回(QoS0)・少なくとも一回(QoS1)・一回のみ(QoS2) 【標準値：多くても一度】
購読タイトル	使用するタイトル(トピック)を入力します。 【標準値：SubscribeTest】
継続配信	チェックを入れることでパブリッシャー機能を有効にします。
配信QoS	使用するQoSレベルを設定します。 選択値：ほぼ一回(QoS0)・少なくとも一回(QoS1)・一回のみ(QoS2) 【標準値：多くても一度】
配信タイトル	使用するタイトル(トピック)を入力します。 【標準値：PublishTest】

1-19.SMTP環境設定(メール送信設定)

「本体設定」画面上の項目より「ネットワーク」メニュー内の「詳細設定」を選択し、サブ項目の「SMTP本体設定」を選択します。

システム	MQTT 環境設定	SMTP 環境設定	
ネットワーク	<input type="checkbox"/> アラートメールを起用する		
基本設定	SMTPサーバー	カスタム	
詳細設定	カスタム SMTPサーバー	smtp.MailServer.com	
顔認証設定	差出人のアドレス	User@domain.com	
測温設定	ポート	465	
アラーム設定	<input type="checkbox"/> ファイル添付する		
人員検索	件名	FRD ALERT	
	暗号化選択	SSL	
	ユーザー名	User	
	パスワード	
	受信アドレス1	receiver1@domain.com	テスト
	受信アドレス2	receiver2@domain.com	
	受信アドレス3	receiver3@domain.com	
	保存		

アラートメールを起用する	チェックを入れるとメール送信機能を使用します。 【標準値：チェックなし】
SMTPサーバー	メール送信に使用するSMTPサーバーを選択します。 選択値：Smtp.163.com・Smtp.qq.com・Smtp.sina.com・Smtp139.com・Smtp.mail.yahoo.com.cn・Smtp.live.jp・Smtp.gmail.com・手動入力 【標準値：Smtp.163.com】
カスタムSMTPサーバー	SMTPサーバーで手動入力を選択時、入力できます。 SMTPサーバーアドレスを入力します。
差出人のアドレス	メール送信に使用するメールアドレスを入力します。
ポート	メール送信に使用するポート番号を入力します。
ファイル添付する	チェックを入れると、メール送信時に画像を添付します。 【標準値：チェックなし】

V2L-PRO

件名	メール送信の際の件名を入力します。 【標準値：FRDALERT】
暗号化選択	メール送信に使用する暗号方式を選択します。 選択値：NONE・SSL・TSL 【標準値：SSL】
ユーザー名	SMTPサーバーにログインするユーザーIDを入力します。
パスワード	SMTPサーバーにログインするパスワードを入力します。
受信者1～3	メールを送信する宛先アドレスを入力します。 メールアドレスは3つまで登録が可能です。

1-20.顔認証設定

「本体設定」画面上の項目より「顔認証設定」を選択します。

本項目では接続された機器へのリレー出力動作の設定も行います。

※リレー動作条件については「1-19-1.リレー動作表」を参照してください。

システム	顔認証設定	
ネットワーク	未登録者	<input checked="" type="checkbox"/>
顔認証設定	マスクをチェックする	<input checked="" type="checkbox"/>
顔認証設定	リレー時間	1000 (ミリ秒)
顔認証設定	リレー方向	正常
測温設定	動体検測	起用
アラーム設定	ヒートマップ	起用
人員検索	検証モード	顔認証
	測温モード	速め
	最大認識距離	0.8m

未登録者	<p>チェックを入れると未登録者撮影時もリレー動作を行います。</p> <p>チェック時、登録者、未登録者ともに正常に検知された際「通過してください」音声が出力されます。</p> <p>未チェック時、顔登録者を正常に検知した際は「通過してください」の音声出力とリレーが動作します。未登録者の場合、「温度正常です」音声が出力され、リレーは動作しません。</p> <p>【標準値：チェックあり】</p>
マスクをチェックする	<p>チェックを入れるとマスク検知を行います。</p> <p>チェック時、マスク未着用者を検知時「マスクをしていません。」音声を出力します。</p> <p>【標準値：チェックあり】</p>

リレー時間	リレー出力継続時間を設定します。 選択値：200-10000(ミリ秒)【標準値：1000】
リレー方向	接点切替えの条件を設定します。 出力条件については「1-13-1.リレー動作表」をご参照ください。 選択値：正常・逆流【標準値：正常】
動体検測	生体認証機能の使用有無を選択します。 設定時、写真など実際の人物以外では検知しにくくなります。 選択値：起用(使用する)・閉じる(使用しない)【標準値：起用】
ヒートマップ	画面上にサーマルイメージ画像の表示の有無を選択します。 選択値：起用(表示する)・閉じる(表示しない)【標準値：起用】
検証モード	検証タイプを選択します。 選択値：顔認証・カード認証・顔とカードの両方認証【標準値：顔認証】
測温モード	測温モードを選択します。※通常は「速め」を選択してください。 選択値：速め・正常【標準値：速め】
最大認識距離	人物の認識を行うカメラとの最大計測距離を設定します。 選択値：0.8m・1.0m・1.2m・1.5m・2.0m 【標準値：0.8m】

1-20-1.リレー動作表

未登録にチェックあり、リレー出力条件「正常」設定時

		マスク検出チェックあり		マスク検出チェックなし
		マスク着用	マスク未着用	
温度	警報温度未満	リレー動作する	リレー動作しない	リレー動作する
	警報温度以上	リレー動作しない	リレー動作しない	リレー動作しない

未登録にチェックあり、リレー出力条件「リバース」設定時

		マスク検出チェックあり		マスク検出チェックなし
		マスク着用	マスク未着用	
温度	警報温度未満	リレー動作しない	リレー動作する	リレー動作しない
	警報温度以上	リレー動作する	リレー動作する	リレー動作する

V2L-PRO

未登録にチェックなし、リレー出力条件「正常」設定時

			マスク検出チェックあり		マスク検出チェックなし
			マスク着用	マスク未着用	
温 度	警報温度 未満	登録者	リレー動作する	リレー動作しない	リレー動作する
		未登録者	リレー動作しない	リレー動作しない	リレー動作しない
	警報温度 以上	登録者	リレー動作しない	リレー動作しない	リレー動作しない
		未登録者	リレー動作しない	リレー動作する	リレー動作しない

未登録にチェックなし、リレー出力条件「リバース」設定時

			マスク検出チェックあり		マスク検出チェックなし
			マスク着用	マスク未着用	
温 度	警報温度 未満	登録者	リレー動作しない	リレー動作する	リレー動作しない
		未登録者	リレー動作する	リレー動作する	リレー動作する
	警報温度 以上	登録者	リレー動作する	リレー動作する	リレー動作する
		未登録者	リレー動作する	リレー動作する	リレー動作する

1-21. 測温設定

「本体設定」画面上の項目より「測温設定」を選択し、サブ項目の「測温設定」を選択します。

システム	測温設定	メンテナンス
ネットワーク	体表温補正:	<input type="text" value="0.0"/>
顔認証設定		補正範囲-5.00~5.00
測温設定	検温する	<input type="checkbox"/>
測温設定	アラート温度	<input type="text" value="37.3"/> °C
アラーム設定	測定温度	<input type="text" value="体表温"/>

体表温補正	実際の温度と測定温度に差がある場合に表示温度を補正します。 選択値：-5.00～5.00℃ 【標準値：0.0】
検温する	チェックを入れると顔検出時に温度を測定し、表示します。 【標準値：チェックなし】
アラート温度	アラーム検出を行う温度を入力します。【標準値：37.3】
測定温度	温度検出を行う被写体モードを選択します。 選択値：体表温(顔の体表面測定)・物体温度(物体の表面測定) 【標準値：体表温】

1-22. メンテナンス

「本体設定」画面上の項目より「測温設定」を選択し、サブ項目の「メンテナンス」を選択します。

システム	測温設定	メンテナンス
ネットワーク	バージョンモジュール:	<input type="text" value="201"/>
顔認証設定	アップグレード	<input type="button" value="アップグレード"/>
測温設定	ファームウェア	<input type="text"/>
測温設定	<input type="button" value="ファイル選択"/>	<input type="button" value="アップグレード"/> <small>注意</small>
アラーム設定	アップグレードするには約1~10分間がかかります。電源を切らないでください。完了したら、デバイスが自動的に再起動します。	

1-23. アラーム設定

「本体設定」画面上の項目より「アラーム設定」を選択します。

システム	アラーム作動方法	
ネットワーク	アラームを有効にする	<input type="checkbox"/>
顔認証設定	未登録者のアラーム	<input type="checkbox"/>
測温設定	異常温度アラーム	<input type="checkbox"/>
アラーム設定	マスク未着用のアラーム	<input type="checkbox"/>
アラーム設定	アラーム持続時間	<input type="text" value="5"/> Sec
		アラーム持続時間1s~100s

V2L-PRO

アラームを有効にする	アラームイベントの使用の有無を設定します。 【標準値：チェックなし】
未登録者のアラーム	チェックを入れると未登録者検知時にアラーム発報を行います。 【標準値：チェックなし】
異常温度アラーム	チェックを入れると温度異常検知時にアラーム発報を行います。 【標準値：チェックなし】
マスク未着用のアラーム	チェックを入れるとマスク未装着者検知時にアラーム発報を行います。 【標準値：チェックなし】
アラーム継続時間	アラーム出力を行う出力時間を設定します。 選択値：1s～100s 【標準値：5Sec(秒)】

1-24. 人員検索

カメラに登録済みの人員リストが表示されます。

人員検索

番号	ID番号	姓名	有効な開始時間	有効な終了時間
----	------	----	---------	---------

実行 K 1 / 0 >

1-25.ユーザー登録

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「ユーザー設定」を選択します。

<ul style="list-style-type: none"> システム システム 自動再起動 ユーザー設定 音量設定 	ユーザー登録												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>ユーザー名</th> <th>パスワードレベル</th> <th>レベル</th> <th>修正</th> <th>削除</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>admin</td> <td>弱パスワード</td> <td>管理者</td> <td style="color: red;">修正</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>	番号	ユーザー名	パスワードレベル	レベル	修正	削除	1	admin	弱パスワード	管理者	修正	-
番号	ユーザー名	パスワードレベル	レベル	修正	削除								
1	admin	弱パスワード	管理者	修正	-								

修正

登録されているユーザーの「修正」をクリックするとユーザー修正画面が表示され、パスワードの変更が行えます。
adminの修正を行うには「1-16-1.admin情報の修正」をご参照ください。
パスワードを変更するには「パスワード変更」にチェック後、「新しいパスワード」と「確認」に新しいパスワードを入力後、「OK」ボタンをクリックします。

削除

登録されているユーザーの「削除」をクリックすると登録ユーザーの削除が行えます。
削除するには「削除」クリック後、表示されるメッセージ上の「OK」ボタンをクリックします。

ユーザー追加

「ユーザー追加」ボタンをクリックすると「ユーザー追加ウインドウ」が表示されます。
ユーザーを追加するには「ユーザー追加ウインドウ」上の「ユーザー名」「パスワード」「確認」を入力後、レベルを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

V2L-PRO

1-25-1.admin情報の修正

adminユーザーの「修正」をクリックすると下図のadmin情報変更画面が表示されます。

システム

システム

自動再起動

ユーザー設定

音量設定

補助光設定

ネットワーク

顔認識

温度測定

訪問者検索

ユーザー登録

ユーザー名 admin

タイプ 管理者

現在のパスワード

パスワード変更

パスワード

確認

秘密の質問をリセット

秘密の質問1

回答1

秘密の質問2

回答2

秘密の質問3

回答3

エクスポートキー

セキュリティの問題を忘れてキーファイルがない場合は、機器を工場に返却する必要があります。

OK

パスワード変更	adminのパスワードを変更するには現在のパスワードに現在使用しているパスワードを入力後、「パスワード変更」にチェックを入れ「パスワード」と「確認」に新しいパスワードを入力後、「エクスポートキー」ボタンをクリックし、エクスポートキーを保存後、「OK」ボタンをクリックします。
秘密の質問	登録することで「adminパスワードを忘れた場合に登録した「秘密の質問」に設定した3つの質問の回答を入力することでパスワードの変更、ログインが行えます。 各項目入力後、「エクスポートキー」ボタンをクリックし、エクスポートキーを保存後、「OK」ボタンをクリックします。
エクスポートキー	adminパスワードを忘れた際に保存したエクスポートキーを読み込ませることによりパスワードの変更、ログインを行うことができます。

		V2L-PRO	F/W: V21.6.47.1
モニター	サイズ	7inch IPS HD LCD	
	有効解像度	600*1024	
可視カメラ	センサー	1/2.8インチ SONY Starvis sensor IMX307	
	解像度	1920×1080 30fps	
	レンズ	4.5mm	
サーマルカメラ	センサー	1/5インチ 近赤外線センサー	
	解像度	NIR 800×600 15fps	
	レンズ	2.4mm	
体表面温度検知	検知速度	約1.2~2.0秒	
	測定範囲	35~42℃	
	測定距離	0.5-1.3m(推奨距離0.75m)	
	測定誤差	± 0.3℃	
顔検知	認識機能	マスク用検知	
	顔検知距離	0.5-2.0m	
	検知速度	約0.2秒	
	許容範囲	眼鏡・短髪等 (形状により認識しない場合がございます。)	
インターフェイス	ネットワーク	RJ45 10M/100M	
	リレー出力	あり(C接点)	
	Wiegand入出力	対応(切替式)	
耐環境性	LED / 音声出力	赤外線LED、白色LED / スピーカー内蔵	
	電源 / 消費電力	DC12V / ≤ 12 W (電源アダプター付属)	
	本体寸法	219 (H) × 111 (W) × 21.5 (T)mm	
	動作温度範囲	10~50℃ (温度測定機能を使用する場合は10~35℃)	
	動作環境湿度	10% -90% 結露ないこと	
	耐防水性	IP66	

※1: 顔認証機能のみを使用する際の動作温度範囲となります。温度検知機能を使用する場合は10~35℃となります。

設定確認チェックシート

設定項目	チェック	設定値
日付設定	タイムゾーン設定※	<input type="checkbox"/>
	時刻の設定※	<input type="checkbox"/>
画面表示	画面表示	<input type="checkbox"/>
	言語※	<input type="checkbox"/>
スナップショット	画像を保存します※	<input type="checkbox"/>
音量設定	音量設定	<input type="checkbox"/>
顔認識	未登録者	<input type="checkbox"/>
	マスクチェック	<input type="checkbox"/>
	サーマル画像表示	<input type="checkbox"/>
警報温度	温度補正	<input type="checkbox"/>
	検温する※	<input type="checkbox"/>
	アラート温度	<input type="checkbox"/>

※出荷時に設定済み項目ですが、工場初期化設定後は未設定となります。

上記項目カメラ設定は全ての項目ではございません。本体を動作する際に必須項目のみ記載しております。

保証書

品番	製造番号
お名前	様
ご住所	〒
電話番号	-
お買い上げ日（和暦） 年 月 日	販売店名・住所・電話番号
保証期間（お買い上げ日から） 2年間	



本書はお買い上げの日から先、期間中故障が発生した場合、下記の保証規定内容にて無料修理をお約束するものです。ご記入いただきました、個人情報の利用目的は弊社HPに記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

株式会社 V PLUS

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-32-1 やまかわビル3階
電話番号 03-5577-4292

保証規定

機器の仕様範囲内による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に無償交換または、無料修理を致します。保証期間中に故障が発生した場合には、商品に本書をそえて販売店へ修理をご依頼下さい。

●印欄にご記入のない場合は保証期間内でも有効とはなりませんので、必ず記入漏れがないかご確認ください。
本書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
・機器の仕様範囲を超えた使用条件や環境による故障及び損傷
・使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
・お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
・火災、天災地変（地震、風水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧による故障及び損傷
・本書にお買い上げ年月日、お客様ご氏名、ご住所、お電話番号、販売店名の記入のない場合、或いは字句が書換えられた場合
・各部の点検又は定期保守に要する費用

■修理後の保証について
修理完了品のご返却後、製品の元々の保証期間または、ご返却後6か月間のどちらか長い期間を修理ご返却後の保証期間とし、期間中に故障が発生した場合には無償にて再修理致します。

■ネットワークに関して※1
本製品以外の他社製品、ネットワーク環境によるネットワークトラブルに関しましては、メーカー、販売会社、販売店はいかなる責任も負いかねます。修理、設定は有料になる場合があります。
※1ネットワークカメラ及びデジタルレコーダーに関連する商品に限ります。

■逸失利益等の補償
・商品の使用、または故障等により使用出来なかつた事により発生した逸失利益等について、メーカー、販売会社、販売店は一切の補償は致しません。
・動作停止期間、逸失利益、記録した映像・音声の消失や破損などの間接的損害について弊社ではいかなる責任も負いかねます。

■本書は日本国内においてのみ有効です。
この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理を約束するものです。
したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の処理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

VPLUS 